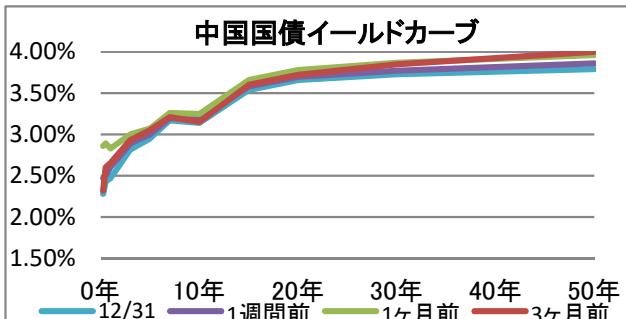
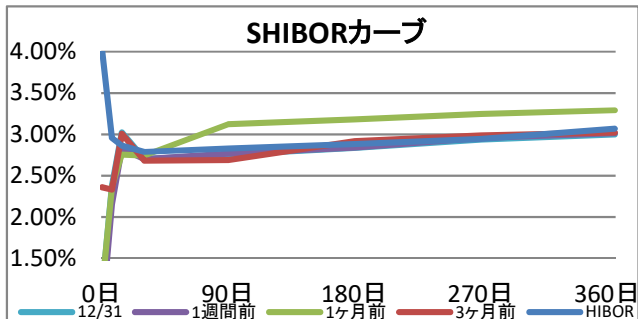


①市場概況

基準レート		2020/12/31	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.5249	-0.0084
	JPY/CNY	6.3236	0.0212
SHIBOR	3M	2.7560%	-0.0100%
国債利回り	10年	3.14%	-0.05%
上海総合指数		3,473.06	+76.50



(1) 概況

中央経済工作会議で積極財政と穏健な金融政策の維持方針が確認されて以降、金融市場は安定した状態が続いており、金融当局によるアント集団への厳しい規制対応への懸念はあるものの、中国とEUが投資協定に合意したこともあって、株高、債券高、人民元高で年末を迎えている。

中国銀行保険監督管理委員会は、中国人民銀行と連名で、不動産金融市場の安定した発展を目的として銀行による不動産融資残高を銀行の資産規模等に基づき規制する通知を出している。また、生命保険会社に対する外国資本の出資規制の撤廃に関する法令へのパブコメ募集を開始している。

ニューヨーク証券取引所は、トランプ大統領による大統領令に基づき、中国大手通信3社の上場廃止手続きに入ることを公表しており、上場廃止対象の拡大が懸念される状況となっている。

(2) 金融調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日400億元に対し、新規リバースオペ1,700億元を実施し、差し引き1,300億元を供給している。金融システム内の資金調達ニーズが充足される中、中国人民銀行は資金供給姿勢を維持。

(3) 主な経済指標

・国家統計局のPMI (12月) は、製造業が51.9 (11月52.1)、非製造業55.7 (同56.4)、総合55.1 (同55.7) と、前月比では低下したものの、高水準を維持している。価格関連が上昇する一方で生産や受注等が高水準ながら低下に転じ、雇用は50以下で横這いから低下する状況となっている。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.0930%	1.3200%	0.8000%	
1W	2.3810%	2.4500%	1.2000%	2.0000%
2W	3.0250%	6.5000%	4.0000%	2.0000%
1M	2.7020%	6.5000%	3.8000%	2.2000%
3M	2.7560%	3.8000%	6.5000%	2.3000%
6M	2.8380%			2.6500%
9M	2.9390%			
12M	3.0000%			2.9000%

金融システム内の資金需給が充足されている中でも中国人民銀行が資金供給姿勢を維持したことから、ターム物の金利水準も低下を続け、波乱なく年末を迎えている。ターム物の出合いも1ヶ月が3.0%を下回る水準で取引されている。

NCDも活発な取引が続く、取引を伴った金利低下が続いており、12月スタートのターム物の金利水準は1ヶ月2.50%前後、3ヶ月2.65%前後、6ヶ月2.80%前後、1年3.00%を下回る水準となっていた。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.00%	0.01%
1W	0.01%	0.03%
1M	0.13%	0.15%
3M	0.30%	0.35%
6M	0.60%	0.65%
12M	0.80%	0.85%

前週中に資金調達ニーズが充足されており、年末に近づくにつれて取り手が大幅に減少したことから、金利水準は1ヶ月が0.15%前後、3ヶ月では0.30%水準が出し気配の状況が続いている。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.28%	2.41%	2.49%	2.72%	3.40%
6M	2.43%	2.51%	2.73%	2.99%	3.71%
1Y	2.47%	2.61%	3.01%	3.11%	3.76%
3Y	2.82%	3.15%	3.38%	3.48%	4.26%
5Y	2.95%	3.28%	3.57%	3.75%	4.60%
10Y	3.14%	3.57%	3.87%	4.09%	4.95%

債券市場では、中国人民銀行の資金供給継続により短期金利が低位で安定していたこともあり、年末に向けてデレシオン短期化が続いたことから債券利回りも短期を中心に一段と低下している。ただし、1月以降における強気相場の持続性については、依然として慎重な見方がある。

イールドカーブは、短期金利の低下により全体的に利回り水準が低下する中で、デレシオン短期化の動きによる小幅なスティーピングが続き、クレジットスプレッドも年末に向けた利率債選好が続いて拡大傾向が続いている。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	28.3 / 30.0
1M	125.0 / 130.0
3M	382.0 / 385.0
6M	720.0 / 741.0
9M	1080.0 / 1090.0
12M	1430.0 / 1440.0

対ドル基準レートは6.5249と前週末比-84pipsのドル安元高、対円基準レートは6.3236と同+212pipsの円高元安と、ドル安傾向が続いたものの年末を控えて変動幅は縮小している。週初は月末のドル需要からドル高元安となったものの、世界的にドル安傾向が続いていることや人民元先高期待もあって、6.52台まで下げる展開となった。

先物は、人民元金利の低下が続いたことから、スワップ幅の縮小が続いている。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.41%		1.93%
6M	2.42%	2.81%	2.00%
9M	2.45%	2.85%	2.05%
1Y	2.48%	2.89%	2.08%
3Y	2.66%	3.15%	2.37%
5Y	2.83%	3.35%	
7Y	2.96%	3.50%	
10Y	3.11%	3.68%	

債券利回り低下を受け、スワップ金利の低下も続いている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは、債券市場ではポジション調整に伴う短期債を中心とする大幅な利回り低下が起こる一方、スワップ金利は大きく変化しなかったことから、一時的に急拡大している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。